

## 野原はうたう

>>> TOSS 福井 村上睦

### 概要

光村中1『野原はうたう』(工藤直子)の実践。一字読解、話者と作者、対比、ミニ討論、パロディ詩づくり、倒置法を扱う。分析批評の入門的な指導をおこなった。(TOSS 福井推薦)

## 野原はうたう(1)『うちゅう・いるか』

>>> TOSS 福井 村上睦

### 概要

一字読解の後、話者と作者のちがいを、対比について扱う。ノートの手書き方や分析批評の基本的な要素を入門的に指導した。

### 音読

- ・ 追い読み
  - ・ 隣同士で交替読み
- など、数回読む。

### 一字読解

ノートに と書きなさい。

1行あけて と書きなさい。お隣さんを確認。

同じように まで書きなさい。

テンポ良く進める。

今から問題を出します。番号の下に答えだけ書いていきなさい。

この詩の題名は何ですか？ の下に書きなさい。

指名発表させ、丸をつけさせる。

同様に進める。

うちゅうがうまれてどれくらい経つのですか？

ちきゅうがうまれてどれくらい経つのですか？

ちきゅうには何があふれているのですか？

「でっかい」のはなんですか？

そんなうちゅうにくらべて「ぼく」はどうなのですか？

「ぼく」と言っているのは誰ですか？

「ぼく」は何をだしているのですか？

「ぼく」は何になると言っているのですか？

補足

は「ぼく」という答えと「ぼっちり ちいさい ぼく」という答えの2通りが出てきた。字数制限をした方が良かった。同様に は「いのち」と「ぴかっと ひかる いのち」の2通りが出た。

話者と作者

詩の中で「ぼく」と言っているのは「いるかゆうか」君です。

このように、読者に向かって詩を語っている人のことを「話者」と言います。

板書して書かせる。

話者は「いるかゆうか」君です。では「作者」は誰ですか？

・工藤直子

ペンを持って原稿用紙にこの詩を書いた人は、作者、工藤直子さんという詩人です。うちゅうでおよぎながら、この詩をみなさんに語りかけているのは「いるかゆうか」君です。このように、「話者」と「作者」はちがうのです。

『吾輩は猫である』を例に補足説明をした。

対比

「でっかいうちゅう」と対比されている言葉を囲みなさい。

・ちいさいぼく

こんなふうに、正反対のものや、2つでセットになるもののことを「対比」と言います。

男と女、高いと低い、強いと弱い、などを例に挙げながら補足説明した。

この詩の中で、ほかに対比されているものを見つけて、ノートに書きなさい。

書けたらノートを持ってこさせる。

通路を指定して一方通行で来ること、ノートを教師に向けて見せることなどを指導する。

- ・「うちゅうがうまれて なんびゃくおくねん」と「ちきゅうがうまれて なんじゅうおくねん」
  - ・「うちゅう」と「ちきゅう」
  - ・「ながいながい じかんのなかで」と「いま ここ ぼくはいきている」
  - ・「うちゅう」と「ぼく」
- などが出る。  
どれも認め、丸をつける。

## 野原はうたう(2)『あしたこそ』

>>> T O S S 福井 村上睦

### 概要

たんぼぼのわたげ(話者)が飛びたつ様子を通して、新しい世界への旅立ちに期待する気持ちを表現していることを理解させる。ミニ討論もできる。

### 音読

- ・追い読み
- ・一斉読み
- ・隣同士で交替読み

### 主題

この詩の話者は誰ですか？

「話者」という用語は学習済み。

「はなひらく」というのは、人間で言うときどういうことを表していますか？

- ・大人になる
- ・努力が実る
- ・子どもが生まれる

「たくさんの『こんにちは』にであう」というのは、人間で言うときどういうことを表していますか？

- ・たくさんの人と出会う
- ・たくさんの友だちと出会う

この詩の主題を書きます。

この詩は、( )を、たんぼぼのわたげが飛びたつ様子にたとえて表現している。

( )に入る言葉を考えて書かせる。

- ・成長して大人になる様子
- ・就職して新しい仕事につくこと
- ・結婚して子どもができること

などの答えが出た。

### ミニ討論

この詩の時間帯は、朝、昼、夜のいつですか？ ノートに「朝」「昼」「夜」のどれかを書いて、理由も書きなさい。

意見を発表します。体を教室の内側に向けなさい。発表したい人は立って発表します。同時に何人が立ったら、黙って譲り合います。

指名なし発表のやり方を教えながら発表させる。

(昼)

- ・「ひかり」は太陽の光のことである。
- ・「こんにちは」は昼のあいさつだから。

(夜)

- ・「ゆめにみて」とあるから。
- ・「ひかり」は月の光のことである。
- ・「あした」とあるから。
- ・挿絵が夜の場面に見えるから。

自分のクラスでは、約3分の1が「昼」、3分の2が「夜」であった。

補足

自分の立場を決めて、言葉を根拠に意見を書いて発表するという経験を、黄金の三時間でさせたいと考えた。時間の関係で、反対意見を書いて発表するところまではできなかったが、「反対意見でもいいですか？」という生徒がいたので、残りの時間は自由に討論させた。

## 野原はうたう(3)『おれはかまきり』

>>> TOSS福井 村上睦

概要

第1連と第2連が同じ形式のくり返しになっていることを理解させ、その形式を利用してパロディを作らせる。

音読

ドスのきいた声で、威張った調子で読む。

(教師)「おれはげんきだぜ」(生徒)「おれはげんきだぜ」  
「あんまり元気じゃないなあ(笑)」

(教師)「おう あついぜ」(生徒)「おう あついぜ」  
「暑そうじゃないぞ(笑)」

などと合いの手を入れながら、楽しい雰囲気を出させていく。

隣同士で交替読み、一人読みなど、何度かくり返して読ませる。

## パロディを作る

第1連の1行目の「おう」を囲みなさい。

第2連の1行目の「おう」も囲みなさい。

同じように、1行目最後の「ぜ」も囲みなさい。

同じように、第1連と第2連で共通している部分を全部囲みなさい。

このように、第1連と第2連は同じ形式のくり返しになっています。

今日は、この形式を利用して、みんなにオリジナルの詩を作ってもらいます。

おれは(                    )  
おう (                    ) ぜ  
おれは(                    ) ぜ

(        ) に自分で言葉を入れて、詩を作ります。

必要ならば、教師の作った詩を例示する。

おれはライオン  
おう アフリカだぜ  
おれは百獣の王だぜ

こんなふうには書けばいいのです。

ここまで書けたら見せに来ます。見せたら続きを書いていきなさい。

最後に班の形になり、班の中で発表して終了。

## 野原はうたう(4)『ひかる』

>>> T O S S 福井 村上睦

概要

倒置法を理解させる。

## 音読

はじめの3行だけ読みます。

列指名していく。

「うまい！ でも5点！」

「いい声だ！ でも10点！」

などと評定していく。

中に、「間」を意識した読み方をする子が出てくる。

「間のとり方がうまい！ 30点！」

そうやって気づかせていく。

全員起立。何回も練習します。上手に読めるようになったと思ったら座りなさい。

座ったら列指名で読ませていく。

間のとり方や気持ちをこめた読み方をする生徒が増えてくる。

「40点」「60点」など高い評定を与えていく。

## 倒置法に気づかせる

ノートに、次のように書きます。

わたしの ぜんぶの  
からだと ところで

わたしをみつけて！  
と  
ひかります

教科書の元々の詩をAとします。ノートに書いたものをBとします。

どちらが良い詩だと思いますか。理由も書きなさい。

(A派)

- ・「わたしをみつけて！」という気持ちが強いから。
- ・まだ詩が続きそうな感じがするから。

(B派)

- ・意味が分かりやすいから。

AとB、だいたい半々であった。

Bのように、言葉の順番をふつうの順番と逆にする表現方法を、倒置法と言います。

強調したい言葉を最初に持ってきて、そのあとでくわしく説明するのです。

「あー疲れたなあ！ 今日のテストは」

「いやだなあー！ この雨は」

などの例を出して補足説明する。

補足

1クラスでは「どちらが良い詩だと思いますか」という発問で、もう1クラスでは「どちらが  
いますか」という発問で授業した。前者の方が生徒は考えやすく、反応も良かったようだ。